

平成 30 年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

平成30年度事業報告

会員数 平成30年4月 1日現在 法人会員87 個人会員59 賛助会員8 計154
 平成31年3月31日現在 法人会員85 個人会員59 賛助会員5 計149

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは1社2件を推薦した。

平成30年度全国発明表彰式

日 時 平成30年6月12日（火）

会 場 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

②関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は184件で、うち本県関係は下記の一覧のとおり17件を推薦した。

平成30年度関東地方発明表彰式

日 時 平成30年11月8日（木）

会 場 浦安ブライトンホテル東京ベイ

平成30年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
静岡県知事賞	高周波誘導加熱による圧縮機加熱方法	畠山 和徳	三菱電機株式会社
		坂廻邊和憲	
		松下 真也	
		牧野 勉	三菱電機エレクトロニクスソフトウェア株式会社
静岡県発明協会会長賞	信頼性と性能を両立する空調機の冷媒制御	横関 敦彦	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		多田 修平	
		野中 正之	
		坪江 宏明	元日立アプライアンス株式会社
静岡県発明協会会長賞	感光性樹脂組成物、及び硬化レリーフパターンの製造方法	藤田 充	旭化成株式会社
		平田 竜也	
		森田 涼子	ダウ・ケミカル日本株式会社
発明奨励賞	多様な指向性を複合した光学レンズ	坂下 麻美	株式会社小糸製作所
		湯浅 春馬	
		小泉 浩哉	
		杉浦 玉晃	
		延原 賢治	
発明奨励賞	マイクロ波減圧乾燥機	岡村 邦康	西光エンジニアリング株式会社

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
発明奨励賞	自然の風を生成する空気調和機の風向構造と制御	古橋 拓也	三菱電機株式会社
		松本 崇	
		代田 光宏	
		宇賀伸裕樹	
		石川 美穂	
発明奨励賞	冷蔵庫の保存温度制御	添田 舞子	三菱電機株式会社
		内田 毅	
		松本真理子	
		岡部 誠	
		鈴木 和貴	
発明奨励賞	近接配置の無線タグに対応する読取装置	加藤 雅一	東芝テック株式会社
	大石 禎利		
発明奨励賞	データキャリア、無線通信機構	鈴木 茂晃	東芝テック株式会社
発明奨励賞	無給油式スクリーユ圧縮機	池田由紀子	株式会社日立製作所
		椎木 和明	元株式会社日立産機システム
		岡谷 真克	株式会社日立産機システム
		川端 夏樹	
		川邑 正広	株式会社川邑研究所
発明奨励賞	プーリーシャフトの製造方法	袴田 直司	本田技研工業株式会社
		宇佐美敦士	
		北藤 昌治	
		廣瀬 良輝	
		松尾 俊和	
発明奨励賞	バックラッシュ測定装置及び測定方法	稲森 一成	本田技研工業株式会社
		鈴木 英夫	
		中 誠一郎	
		瀬崎 祐二	HondaofAmericaMfg., Inc.
発明奨励賞	コンパクト大容量を実現した冷蔵庫	花岡 祥	三菱電機株式会社
		中津 哲史	
		坂本 克正	
		杉崎 沙織	
		中島 浩史	
		大石 隆	
発明奨励賞	芯材一体製袋方式による真空断熱材の製造	藤村 一正	三菱電機株式会社
		向山 貴祥	
		野村 京子	
		高木 司	
		藤森 洋輔	
		安孫子尚平	
		高井 浩明	

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
発明奨励賞	空気調和機の室内機/室外機通信判定処理	飯島 宏一	三菱電機株式会社
発明奨励賞	圧縮機の据付け機構	高島 和	東芝キャリア株式会社
		里舘 康治	
		青木 俊公	
発明奨励賞	風量切り替えが可能な換気扇	林 恭正	東芝キャリア株式会社

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第66回静岡県学生児童発明くふう展」と「第41回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会 期 平成30年11月2日(金)～11月4日(日)(表彰式11月4日)

会 場 静岡県庁別館21階展望ロビー (入場者延べ1,920人)

ア 第66回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	40点	14点
中学生	30点	14点
合 計	70点	28点

上記県展で入選した作品の内から、小学生9点、中学生9点を第77回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
毎日小学生新聞賞	ほっとするライトスタンド	清水町立清水小学校	小4	坂田奈々子
奨励賞	未来の信号機	浜松市立南の星小学校	小3	小林 頼武
奨励賞	割合きっちり容器	湖西市立鷺津小学校	小6	長坂 咲楽
奨励賞	着脱式ネジ保持具Ⅱ型	清水町立清水中学校	中1	坂田 峰明
入選	傾斜つき三角コーナー	浜松市立有玉小学校	小5	大里 俊輔
入選	もう怖くない 手を守る缶洗浄ホルダー	浜松市立積志中学校	中2	工藤 大雅

イ 第41回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	27点	16点
中学生	10点	6点
合 計	37点	22点

上記県展で入賞した22点を、全国展の第41回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方々が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
奨励賞	リユースせんたくき	浜松市立北浜南小学校	小3	沢田 萌衣
奨励賞	地磁気力発電	湖西市立知波田小学校	小6	山本 伊織
奨励賞	E C O - T R A I N	浜松市立八幡中学校	中2	藤川 瑛大
奨励賞	Speed capsule in Nano Hospital	袋井市立浅羽中学校	中3	大津 巧海

ウ 後援

児童の創造性開発育成のため、次のとおり後援・協賛した。

- 1) 第53回富士市発明くふう展後援
- 2) 第32回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第36回湖西発明くふう展並びに第24回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第40回浜松市小・中学生発明くふう展後援
- 5) 第5回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から請負った産業財産権に関わる事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産流通促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

企業訪問件数及びマッチング件数は計画値を達成したが、成約件数は計画値を下回り、マッチングが成約につながっていない状況である。マッチングの内容は企業等の紹介や契約等の文案提供などであり、成約の内容は特許の実施許諾契約や試験研究機関と企業との共同研究契約、共同出願契約などである。事業化件数は計画値を達成し、その内容は大学の企業への実施許諾による製造である。

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (H29年度)
企業訪問件数	510	577	113.1	169.7	340
来訪件数	60	50	83.3	68.5	73
マッチング件数	50	69	138.0	92.0	75
成約件数	25	10	40.0	55.6	18
事業化件数	5	5	100.0	166.7	3
講習／講演	50	71	142.0	118.3	60

②知的財産マッチング事業

大手企業の開放特許を会員企業や地域の中小企業に紹介する知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。

ア 知的財産マッチング会 in 浜松

日 時 平成30年7月12日(木)
 会 場 アクトシティ浜松
 参加企業 富士通株式会社、富士通セミコンダクター株式会社

イ 知的財産マッチング個別相談会（静岡）

日 時 平成31年2月5日(火)

③知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）請負事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部） 2名（常勤）
 東部（沼津支所）1名（常勤）
 西部（浜松支所）1名（常勤）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(2) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 知財アドバイザーの活用

知的財産活用企業の裾野の拡大を図るため、中小企業診断士及び企業OBを知財アドバイザーに選定し、企業を訪問することにより、知的財産活用の重要性の理解や知的財産活用の推進を図った。

オ 支援実績

項 目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (H29年度)
窓口相談受付件数	2,566	2,750	107.2	107.3	2,563
専門家活用件数	381	430	112.9	106.2	405
新規相談件数	500	492	98.4	92.3	533
普及啓発訪問企業数	100	88	88.0	72.1	122
顧客満足度調査結果	90.0	98.6	—	—	99.1

カ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、46人で、1月当たり約4人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が46人中25人（54.3%）と半数を超えており、地域別では、電子出願支援用端末機器の設置場所である静岡市の利用者が18人と最も多い。

キ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運営業務支援機関連携会議を2回開催した。

会議の参加者は関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、(公社)静岡県農業振興公社、日本貿易振興機構(ジェトロ)静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、静岡県警である。各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、各々の活動状況や協働支援の実例、課題や問題点、今後の活動などについて協議・検討が行われ、より一層の連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 平成30年6月6日

第2回 平成30年12月10日

ク 事業の周知、広報活動の実績

(1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例の紹介をしている。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

(2) 事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計6,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

(3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 県内の特許公報等分類別動向調査 (H30.4~H31.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	363	941	93	23	67	533	559	459	3,038
特許公報	194	607	93	19	84	379	428	349	2,153
登録実用新案公報	40	21	1	2	9	9	7	2	91
公表特許公報	1	1	1				1		4
再公表特許公報(注2)	34	58	13		8	57	61	70	301
合計	632	1,628	201	44	168	978	1,056	880	5,587

(注1) A=生活必需品、B=処理操作・運輸、C=化学及び冶金、D=繊維及び紙
E=固定構造物、F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破、G=物理学、H=電気

(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

② 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③ 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会（通称：パテント部会）」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理に関するテーマを決め、討論形式により進めた。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月18日	(1)年間事業紹介 平成29年度活動報告・平成30年度事業計画 (2)企業紹介 ①静岡製機(株)技術管理課 山口 拓也 氏 ②(株)マルハチ村松 開発研究部研究センター 青島 啓太 氏 (3)講演 「デンソーの知財戦略」 講師：(株)デンソー知的財産部長 山中 昭利 氏	53名	ペガサート
第2回	5月16日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#1 発明のとらえ方入門」 講師：特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	14名	ペガサート
		2の島 グループ討論 「知財教育どうしてますか？」 講師：(株)巴川製紙所 中村 仁 氏	15名	
第3回	6月19日	記念講演会 「地域企業の技術パートナー そうだ！「工技研」 に聞いてみよう（活用方法のご紹介）」 講師：静岡県工業技術研究所 所長 望月 一男 氏	28名	県産業 経済会館
第4回	7月18日	1の島 演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門研修」 講師：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	18名	ペガサート
		2の島 講座・演習 「侵害予防調査-問題になりそうな他社特許を探せ-」 講師：アウル国際特許事務所 八木 秀幸 氏	18名	
第5回	9月19日	講演 「知的財産関連契約のレビューポイント」 ①秘密保持契約②共同開発契約③ライセンス契約 講師：アンダーソン・毛利・友常法律事務所名古屋オフィス パートナー 名古屋オフィス代表 弁護士 清水 亘 氏	46名	ペガサート
第6回	10月17日	講演「～アジア地域 知財展開作戦～」 第1部 海外知財権 出願費用助成制度 講師：(公財)静岡県産業振興財団 高橋 洋介 氏 第2部 東南アジアの知財の状況 講師：ジェトロバンコク事務所 加藤 範久 氏	30名	ペガサート

第7回	11月14日	見学会 1) ヤマハ(株)豊岡工場 2) 浜松ホトニクス(株)中央研究所 3) 花の舞酒造(株)	25名	磐田市 浜松市 浜松市
第8回	12月19日	講演 1「中小企業における標準化の戦略的活用のために」 講師：(一財)日本規格協会 総合標準化相談室 標準化アドバイザー 津金 秀幸 氏 2「知財高裁専門委員の経験から見る知財管理への想い」 講師：木内研究室 (KILAMETEC) 代表 東京大学名誉教授 木内 学 氏	37名	ペガサート
第9回	2月20日	講演 「営業秘密・知財戦略セミナー “秘密情報を守り・ 活かす方法を一緒に考えましょう”」 講師：(独)工業所有権情報・研修館 知財戦略部 営業秘密管理担当 知的財産戦略アドバイザー 小高 邦夫 氏	24名	ペガサート
第10回	3月20日	勉強会「商標の類否判断」 「げんこつ」と「げんこつコロッケ」・「げんこつ メンチ」の類否 知財高裁判例を題材に 進行：石垣特許事務所 弁理士 石垣 春樹 氏	25名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月18日	「拒絶理由通知への対応」 ～審査官からのメッセージを探せ～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	19名	ペガサート
第2回	9月19日	「発明の発掘から特許出願まで」 ～知財担当(部門)の役割は～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	13名	ペガサート
第3回	12月19日	「発明の発掘から特許出願まで(2)」 講師：(株)巴川製紙所 知的財産グループマネージャー 中村 仁 氏	11名	ペガサート
第4回	2月20日	「共同研究(開発)・共同発明について」 ～それって共同発明だったの？ いきなり相手から言われたらあなたはどうしますか？～ 講師：(株)巴川製紙所 知的財産グループマネージャー 中村 仁 氏	11名	ペガサート

ウ 知的財産権説明会（発明推進協会への協力事業）

項目	実施日	会場	参加者
初心者説明会	平成30年8月9日	静岡県産業経済会館	113名
	平成30年9月11日	アクトシティ浜松	84名

6. 会議等

- (1) 会計監査 平成30年5月11日 当協会
- (2) 総会 平成30年6月19日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 平成30年5月22日 静岡県産業経済会館
平成30年6月19日 静岡県産業経済会館
平成31年3月11日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成30年4月18日 他7回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
平成30年8月31日 浦安ブライトンホテル東京ベイ
- (6) 関東地方発明表彰式典・関東地域発明協会会長懇談会
平成30年11月8日 浦安ブライトンホテル東京ベイ

7. 各種情報の収集及び提供事業

- (1) ホームページによる情報発信
キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。
- (2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）
平成30年6月1日 2018 VOL.5 No.29
平成30年9月1日 2018 VOL.5 No.30
平成30年12月1日 2018 VOL.5 No.31
平成31年3月1日 2018 VOL.5 No.32
- (3) PR活動
全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なPR活動に努め、毎月Google広告に、当協会のPRと入会案内を掲載した。

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

- 当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海支部静岡県委員会に出席した。
平成30年5月18日 他3回

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成 31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,021,144	17,299,584	3,721,560
未収入金	21,751,439	21,501,354	250,085
流動資産合計	42,772,583	38,800,938	3,971,645
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	6,323,654	5,913,614	410,040
特定資産合計	6,323,654	5,913,614	410,040
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	444,960	0	444,960
その他特定資産合計	579,860	134,900	444,960
固定資産合計	6,903,514	6,048,514	855,000
資産合計	49,676,097	44,849,452	4,826,645
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,144,564	1,235,529	▲ 90,965
預り金	1,353,363	1,197,053	156,310
未払消費税	1,040,600	928,800	111,800
未払法人税等	1,500,000	1,400,000	100,000
流動負債合計	5,038,527	4,761,382	277,145
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,323,654	5,913,614	410,040
固定負債合計	6,323,654	5,913,614	410,040
負債合計	11,362,181	10,674,996	687,185
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	38,313,916	34,174,456	4,139,460
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	38,313,916	34,174,456	4,139,460
負債及び正味財産合計	49,676,097	44,849,452	4,826,645

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 30年4月1日～平成 31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,420,000]	[3,550,000]	[▲ 130,000]
法人受取会費	2,577,500	2,727,500	▲ 150,000
個人受取会費	792,500	752,500	40,000
賛助会員受取会費	50,000	70,000	▲ 20,000
② 事業収益	[53,126,659]	[50,140,546]	[2,986,113]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	92,537	80,905	11,632
情報サービス刊行物事業収益	75,944	122,408	▲ 46,464
都道府県受託収益	11,065,400	9,570,525	1,494,875
特許庁請負事業収益	120,700	105,050	15,650
情報・研修館請負事業収益	41,372,078	39,861,658	1,510,420
③ 受取発明奨励等	[50,000]	[4,648,965]	[▲ 4,598,965]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
受取助成金振替額	0	4,598,965	▲ 4,598,965
④ 雑収益	[375,407]	[375,918]	[▲ 511]
受取利息	849	766	83
雑収益	374,558	375,152	▲ 594
経常収益計	56,972,066	58,715,429	▲ 1,743,363
(2) 経常費用			
① 事業費	[47,679,893]	[47,270,820]	[409,073]
発明奨励発明展事業費	1,655,418	2,362,207	▲ 706,789
発明奨励表彰式事業費	602,648	1,051,853	▲ 449,205
発明普及会員管理費	88,378	66,366	22,012
特許制度普及事業費	1,010,203	1,185,085	▲ 174,882
特許情報発信事業費(複写事業)	6,676	8,355	▲ 1,679
特許情報発信事業費(刊行物事業)	60,710	75,913	▲ 15,203
都道府県受託事業費	11,065,400	9,570,525	1,494,875
特許庁請負事業費	20,370	5,076	15,294
情報・研修館請負事業費	33,170,090	32,945,440	224,650
② 人件費	[1,485,638]	[681,309]	[804,329]
給料手当	498,955	217,649	281,306
法定福利費	530,205	39,156	491,049
退職給付費用	410,040	396,360	13,680
福利厚生費	46,438	28,144	18,294
③ 事務費	[2,207,375]	[1,843,581]	[363,794]
水道光熱費	98,978	95,366	3,612
通信費	248,046	207,994	40,052
賃借料	538,380	538,380	0
旅費交通費	17,560	36,730	▲ 19,170
消耗品費	162,545	121,498	41,047
図書費	0	2,592	▲ 2,592
会議費	185,122	173,759	11,363
支払手数料	429,030	358,560	70,470
諸会費	52,500	64,500	▲ 12,000
租税公課	63,134	42,912	20,222
保守料	194,400	143,370	51,030
広告宣伝費	106,440	57,920	48,520
ソフトウェア償却費	111,240	0	111,240
雑費	0	0	0
経常費用計	51,372,906	49,795,710	1,577,196
当期経常増減額	5,599,160	8,919,719	▲ 3,320,559

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 30年4月1日～平成 31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,599,160	8,919,719	▲ 3,320,559
法人税、住民税及び事業税	1,459,700	1,319,700	140,000
当期一般正味財産増減額	4,139,460	7,600,019	▲ 3,460,559
一般正味財産期首残高	34,174,456	26,574,437	7,600,019
一般正味財産期末残高	38,313,916	34,174,456	4,139,460
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[0]	[▲ 4,598,965]	[4,598,965]
一般正味財産への振替額	0	▲ 4,598,965	4,598,965
当期指定正味財産増減額	0	▲ 4,598,965	4,598,965
指定正味財産期首残高	0	4,598,965	▲ 4,598,965
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	38,313,916	34,174,456	4,139,460

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	5,913,614	410,040	0	6,323,654
合 計	5,913,614	410,040	0	6,323,654

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	6,323,654	(—)	(—)	(6,323,654)
合 計	6,323,654	(0)	(0)	(6,323,654)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	556,200	111,240	444,960
合 計	556,200	111,240	444,960

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,913,614	410,040	0	0	6,323,654

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成31年3月31日現在


(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 静岡銀行 本店 静岡銀行 本店	運転資金として 源泉徴収税等	19,667,781 1,353,363
	未収金	静岡県 情報・研修館請負事業	知的財産流通促進事業費残額 知財総合支援窓口運營業務	1,065,400 20,686,039
流動資産合計				42,772,583
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	6,323,654
	その他固定資産	敷金 ソフトウェア	沼津支所賃貸敷金 会計ソフト	134,900 444,960
固定資産合計				6,903,514
資産合計				49,676,097
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 流通AD (株)TOKAI他 NTTファイナンス(株) キャンオンマーケティングジャパン(株) 佐川急便(株)	2月分社会保険料	236,324
			知財総合支援窓口運營業務人件費	88,200
			知的財産流通促進事業人件費	740,000
			1月2月3月分プロバイダ料金等	8,251
			2月3月インターネット回線使用料等	60,447
コピー料金	3,240			
知財情報しずおか等郵送料	8,102			
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	1,353,363	
未払消費税	静岡税務署	30年度消費税	1,040,600	
未払法人税等	静岡税務署	30年度法人税	1,500,000	
流動負債合計				5,038,527
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	6,323,654
固定負債合計				6,323,654
負債合計				11,362,181
正味財産				38,313,916

監査報告書

平成30年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和元年5月13日

監事 石垣 明彦 

監事 中村 仁 